

令和3年度学校関係者評価委員会

1. 日時 令和4年 6月20日(月) 19:30～21:30
場所 函館歯科衛生士専門学校 会議室
2. 出席者 委員 鈴木 均 史 (函館歯科医師会 副会長)
鍋谷 大 史 (函館歯科医師会 理事・教務委員長)
東 清 美 (北海道歯科衛生士会 函館支部長)
南部 さおり (北条歯科医院 実習指導歯科衛生士)
澤谷 幸 絵 (函館歯科衛生士専門学校 同窓会会長)
- 学校 奥 ひろみ (函館歯科衛生士専門学校 校長)
渡邊 恵 里 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任)
永橋 茜 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任補佐)

3. 次第

- (1) 令和3年度自己点検評価報告書の説明
Ⅲ. 教育活動
Ⅳ. 学修成果
Ⅴ. 学生支援
Ⅵ. 教育環境
Ⅶ. 学生募集
- (2) 質疑・応答
- (3) 評価・意見交換 (改善意見、助言等)

上記をⅢ～Ⅶの領域ごとに行う

自己点検評価における領域ごとの学校関係者評価・意見

領域・項目	課 題	評 価 ・ 意 見
Ⅲ教育活動	1. 非常勤講師より、教科の履修時期変更の要望があることについて 2. 1年次の退学者が多かったことについて（不本意な入学など）	1. 臨床科目は実際に見てからでないと難しいのではないかと見学実習を1年次早期に実施してみてもどうか。 2. こんな歯科衛生士になりたいと早期に目標を見つけれられる機会が必要。 現役歯科衛生士からPRも重要ではないか。 その他) メーカー、ディーラー所属の歯科衛生士、または臨床で活躍している歯科衛生士が講師となる授業はどうか。 歯科衛生士への期待が大きい医師もいらっしゃるのでは、講話はモチベーション向上に効果的ではないか。
Ⅳ学修成果	1. 就職説明会の開催方法について	1. プレゼン方式では、歯科医院側からの一方的なものだったように感じた。 質問がある場合は個別にメールでやり取りしてはどうか。 昼食休憩時に質問できるブースを設置してはどうか。 ブース式説明会では、面談者が無いことも考えられる。函館歯科医師会でもプレゼン式で了解している。
Ⅴ学生支援		意見なし
Ⅵ教育環境		1. 卒後研修会の回数を増やすことは可能か。 地域に歯科衛生士のネットワークが広がる機会になっており大切だ。 2. 技工所、ディーラー、幼稚園や、口腔保健センターの検診業務の実習を実施してはどうか。
Ⅶ学生募集	1. 受験生が減少している件について 2. 社会人入学生が全国平均に全く及ばない件 3. 歯科衛生士の不人気	1. 母親の意見が重要になっている現状から広告はフリーペーパーへの掲載が有効ではないか。 函館の魅力度ランキングを活用した広報 2. 専門実践職業訓練制度は有効だが、大々的にアナウンスできないことで周知が進まないのではないかと。 3. 国民皆歯科検診が契機となって、歯科衛生士に注目が集まることに期待する。 日本歯科医師会は3～5年後の試行を目指している。 検診に唾液検査があれば、歯科衛生士が指導できるため、さらに需要が見込める。